

研究成果の刊行に関する一覧表

研究成果の刊行に関する一覧表

〈書籍〉

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
佐地 勉	診断と治療 最近の 進歩 高血圧・肺高 血圧症 肺高血圧症 ・心不全に対する PDE5 阻害薬	山口徹、高本 眞一、中澤誠、 小室一成	Annual Review 循環 器 2007	中外医学 社	東京	2007	218-224
関口進一郎	発熱	河野陽一	保護者に伝えたい こどもの病気・検査 のポイント 100	中外医学 社	東京	2007	3-5

〈雑誌〉

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
伊藤 進	小児適応外使用医薬品の解決における小児科医の役割	日本小児臨床薬理学会雑誌	19	64-69	2006
伊藤 進	医薬品に関する用語；わが国での小児薬物治療の現状をふまえて	小児科診療	70	1069-1978	2007
Nakayama T, Shimada H, Takatsuki S, Hoshida H, Ishikita T, Matsuura H, Saji T	Efficacy and Limitations of Continuous Intravenous Epoprostenol Therapy for Idiopathic Pulmonary Arterial Hypertension in Japanese Children.	Circulation Journal	71 (1)	1785-1790	2007
佐地 勉	肺高血圧症への sildenafil 治療に関する使用実態調査結果	日本小児循環器学会雑誌	23 (1)	75-76	2007
中山智孝、池原 聡、嶋田博光、松裏裕行、佐地 勉	各種疾患領域におけるエポプロステノール処方の違い 小児科医の立場から	Progress in Medicine	27 (2)	547-549	2007
佐地 勉	小児用医薬品承認の新しい流れ - Off-label薬を安全に正しく使用するために -	小児科臨床	60 (12)	2227	2007
中山智孝、佐地 勉	子どもの薬 私なら今これをこう使う 特集 各論 小児に日常よく使われる薬とその使い方 肺高血圧治療薬 一種類と使い方	小児科臨床	60 (12)	2543-48	2007
市田藤子、佐地 勉	平成 18 年稀少疾患サーベイランス調査結果	日本小児循環器学会雑誌	23 (6)	559-561	2007
Fujiwara M, Matsuoka R, Akimoto K, Furutani M, Imamura S, Uehra R, Nakayama T, Takao A, Nakazawa M, Saji T	Implications of Mutations of Activin Receptor-like Kinase 1 Gene in Addition to Bone Morphogenetic protein Receptor II Gene (BMPRII) in Children With Pulmonary Arterial Hypertension	Circulation Journal	72 (1)	127-33	2008
佐地 勉、山田 修、中山智孝、田中亮子、岡野英幸、永田 傳	小児期肺動脈性肺高血圧症症例におけるエポプロステノール治療の有効性と安全性の長期検討—市販後使用成績調査からの検討	心臓	40 (1)	34-43	2008
佐地 勉	重症心不全への塩酸コルホルシンダロパートの使用について	日本集中治療医学会雑誌	15 (1)	6-8	2008
佐地 勉	蛋白合成酵素阻害薬ウリナスタチン療法	日本臨床	66 (2)	343-348	2008
藤田彩子、千葉幹夫、山路 昭、中川雅生	小児科病棟における適応外薬剤の使用状況	日本小児臨床薬理学会雑誌	20 (1)	94-97	2007
牧本 敦	血液腫瘍領域の取り組み ～塩酸イリノテカン第 I - II 相臨床試験～	日本小児臨床薬理学会雑誌	20 (1)	53-56	2007

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
田尻仁 (日本小児栄養消化器肝臓学会 小児B型肝炎診療指針作成ワーキンググループ), 白木和夫, 藤澤知雄, 工藤豊一郎, 長田郁夫, 木村昭彦, 乾あやの, 十河 剛, 村上潤, 恵谷ゆり	小児B型肝炎の診療指針	日本小児科学会誌	111 (7)	949-958	2007
河島尚志	小児期のB型・C型慢性肝炎の治療戦略	小児科診療	70 (7)	1136-41	2007
T. Kondoh, N. Amamoto, T. Doi, H. Hamada, Y. Ogawa, M. Nakashima, H. Sasaki, K. Aikawa, T. Tanaka, M. Aoki, J. Harada, H. Moriuchi	Dramatic Improvement on donepezil in Down syndrome-Associated Cognitive Ompairment.	Dementia, Helix review series	8 (1)	6-9	2006
近藤達郎	ダウン症候群患者における日常生活能力改善のための塩酸ドネペジル投与に関する研究	日本小児臨床薬理学会誌	19	123-127	2006
関口進一郎	臨床的にみた「発熱」とは	薬局	58	9-14	2007
関口進一郎	解熱薬の適正使用	小児科診療	70	1142-1148	2007
森 雅亮	小児科各分科会での off-label drug 承認への戦略～小児薬物療法検討会検討候補薬の選出と報告書作成進捗状況～リウマチ領域	小児臨床薬理学会誌	20 (1)	44-47	2007

資 料

「小児等の特殊患者に対する医薬品の製剤改良その他有効性及び安全性の確保のあり方に関する研究」

第1回班会議議事録

日 時：平成19年8月8日（水）13:00～15:00

場 所：ホテルグランドヒル市ヶ谷 2F 「琵琶」

参加者：伊藤 進（主任研究者）、

網塚貴介・板橋家頭夫・佐地 勉・中村秀文・中川雅生（分担研究者）

大久保賢介（研究協力者）

1. 全体課題の確認

- 1) 小児の年齢を加味した個別医薬品の用法・用量等に関するガイドラインの作成
小児臨床試験につながる形のガイドラインにできるように努力する。
それには、小児薬物動態の専門家（越前 小児学会薬事委員、岩崎 分担研究者）の協力を得る。このテーマに関しては、分担研究者でワークを立ち上げて行う。
- 2) 小児等医薬品に関する諸外国の薬事制度
中村分担研究者に、報告の形で情報提供していただく。
- 3) 小児医薬品に関する医療関係者への情報提供のあり方に関する研究
新生児医療連絡会のネットワーク作りの経験を生かして、小児用医薬品の副作用を含めて医療関係者への情報提供のあり方について検討していただく。
今年度は、小児科学会の各分科会がどのようなネットワークを構築しているかアンケート調査することも考える。

2. 分担研究者の自由研究について

網塚 貴介：新生児医療連絡会のネットワークの管理者である立場を利用して小児医薬品に関する有害事象ならびにリスクの高い事項に関して、医療関係者への情報提供を適切にできる限りスムーズに行い、医療事故、有害事象の2次被害を最小限にとどめるような試みに関する研究をする。また、ネットワークを参照できない医療機関や医師に関して、どのように情報を提供していくか研究する。

板橋家頭夫：全国の電子カルテにおける薬剤のオーダリングシステムが小児の年齢層でも使用でき、有用なものになるように研究を勧める。現存のオーダリングシステムは成人用量での上限設定が決められており、単位や桁数が違ったときのアラーム警報の出し方の検討や各私立大学の薬剤部や病院ネットワーク、成育センターのネットワークを利用してヒヤリハットと事項等の収集を行っている。

佐地 勉：小児薬価に対する研究を行う予定である。小児薬価の算定基準をどのようにするかなど様々な問題点を取り上げ、現状を調査する。
小児治験が終了しているフェノバルビタールや酢酸亜鉛など、現状の算定法であれば薬価が低く抑えられるかもしれない薬剤に注意を払いながら研究していただく必要がある。日本では、大手が見向きもしない薬剤をベンチャー企業が取り扱っているので、ベンチャー企業が小児医薬品を開発しやすい形での提言をお願いしたい。

中村 秀文：諸外国の状況を検討すると同時に、大澤先生にも参加を依頼して国内の小児医薬品に関する取り組みの流れについて随時報告してもらう。国際的な小児医薬品に関する取り組みと本研究班との連携や小児科学会薬事委員会との連携について検討する。

中川 雅生：錠剤を粉碎化した場合での薬物動態試験（吸収等）についての情報収集をする。情報収集は、製薬企業保有のもの、海外情報や各病院薬剤部保有のものを行う。成育医療センター石川班の分担研究で櫛田先生が、剤形変更時の情報提供やそのハンドブック作成のための情報収集を行う予定であるので連携して研究していただきたい。

3. 現状の検討課題

1) コンパッションネートユース制度

平成10年度大西班の報告書の医薬品の解決状況を各分科会で挙げていただくと同時に現状を調査していただく。

2) 小児薬価

現状において、困っている製薬企業の意見を聞く。

ディスプレイ製品や医療機器の値段については、この研究班が検討するのは困難である。しかし、薬剤使用において患者が不利益を被る問題もあり、各分科会でこれに関する意見を聞くことも一方法である。

3) 小児の採用医薬品での一増一減ルールの病院対応状況について

岩崎分担研究者と相談し、アンケート調査を行うようにする。

4) 適応外使用医薬品の有害事象のサーベイランス

保険制度で査定を受けた医薬品を小児科学会のHP上で情報収集することが、小児科学会理事会で認められた。それに、適応外使用医薬品を使用により、医薬品副作用被害救済制度の適応を受けられなかった例も登録していただくよう依頼する。

4. 小児科関係の分科会への作業についての要望

1) 小児薬物療法根拠情報収集事業の候補薬の選定とエビデンス評価

8品目に続くリストの作成を依頼する。15品目程度の選定はなされているが、厚労省の段階で作業が止まっている。

2) 薬物の関与したガイドラインの収集

各分科会が、いままでに報告したガイドラインの一覧を出していただく。

3) 薬物による有害事象発症時の各分科会の伝達方法

網塚分担研究者にアンケート調査依頼

1) と 2) の依頼を小児科関連の各分科会の分担研究者に依頼する。

5. 今後の班会議の予定

1. 小児の医薬品の用法・用量を検討するワークでの検討会を行う。

2. この分担研究者での会議日程

3. 小児科関連の各分科会の分担研究者を含めた全体会議の日程調整を行う。

注意：下線は、小児科関連学会への依頼項目であり、19年度の報告書に盛り込んでいただく。

(追記)

班会議で、日程調整をこの議事録（案）のメール時に聞くとしましたが、5項の1～3がありこの議事録が固まり次第調整を行います。

「小児等の特殊患者に対する医薬品の製剤改良その他有効性及び安全性の確保のあり方に関する研究」

第2回班会議議事録

日 時：平成19年11月16日（金）12：00～13：30
場 所：くまもと県民交流館 パレア 9階 「会議室1」
参加者：伊藤 進（主任研究者）、板橋家頭夫・佐地 勉・中村秀文・
中川雅生（分担研究者）、河田 興（研究協力者）
岩崎利信・秋山裕一（製薬協）

コンサータの現状

ヤンセン栗田さんから承認経緯と今後の適正使用に関し、第三者委員会が認定する研修を修了した医師・薬剤師の認定についての説明があった。（オブザーバとして大澤、宮島参加）小児科学会として文書での考え方の呈示をしたほうがいいのではないかと。12/10以降講習会の日程については連絡する。

1. 全体課題の確認

- 1) 小児の年齢を加味した個別医薬品の用法・用量等に関するガイドラインの作成
小児臨床試験につながる形のガイドラインにするように努力する。
越前 宏俊教授と岩崎 利信さんの両名の承諾を得た。
今後、具体的作業をどうするかを決める。
- 2) 小児等医薬品に関する諸外国の薬事制度
中村分担研究者に、報告の形で情報提供していただく。
WHO Model list of essential medicines for children ; explanatory notes (16 August 2007) の取り扱いを今後検討する。
- 3) 小児医薬品に関する医療関係者への情報提供のあり方に関する研究
新生児医療連絡会のネットワーク作りの経験を生かして、小児用医薬品の副作用を含めて医療関係者への情報提供のあり方について検討していただく。
簡単な調査を小児関連学会へ提示した。

2. 普及啓発事業の発表会について

日時とテーマ 来年（2008年）1/18 14時からアルカディア市ヶ谷
内容 企業と佐地先生で「薬価とインセンティブ」に関わる話題を決定

1. 厚生労働省の働き 当局担当者
2. 小児科領域でのガイドライン作成とガイドラインで記載された適応外医薬品 中川
3. 諸外国での小児適応外使用医薬品解決のための手法グローバルスタディなど 中村
4. 一増一減に関わる施設の現状 板橋
など、テーマとして行うことを決定した。

3. 全体班会議の日程調整

2008年1/18の10時より行うことに決定した。

「小児等の特殊患者に対する医薬品の製剤改良その他有効性及び安全性の確保のあり方に関する研究」

全体班会議（伊藤班）議事録

日 時：平成 20 年 1 月 18 日（金）10：00～12：00

場 所：アルカディア市ヶ谷 6 階 霧島

参加者：分担研究者及び小児関連学会分担研究（研究協力者）

出席表は別表

<10：00～10：10>

1. 研究課題の確認 香川大学小児科 伊藤 進から事務的連絡事項伝達の後

- ① ガイドラインなどを通じた専門家情報の収集・伝達
- ② 大西班、松田班の報告書のHPへのリンク
- ③ H 14 年度から実施してきたチェックリストに上げられた薬の現状評価
- ④ 保険査定回避薬のリストを報告した

<10：10～10：25>

2. 分担研究者発表

- 1) 昭和大学小児科 板橋 家頭夫 より
昭和大学病院におけるオーダリングシステムのインシデント・アクシデントの事例の集計・
検討、一増一減ルールの検証
- 2) 東邦大学小児科 佐地 勉（欠席 薬価について）
- 3) 滋賀医科大学医学部附属病院治験管理センター 中川 雅生 より
剤形変更に関する情報伝達
- 4) 青森県立中央病院総合周産期母子医療センター 網塚 貴介 より
有害事象報告の方法に関する提案（参加の都合で 3. の途中で発表）
- 5) 国立成育医療センター治験管理室 中村 秀文
欧米での小児医薬品の取り組み推進内容が報告された。

<10：25～12：00>

3. 小児関連学会から分担研究発表がされ討議された。

- | | | |
|--------------|-----------------|--------------|
| 1) 未熟児新生児学会 | 10) 小児呼吸器疾患学会 | 19) 小児救急医学会 |
| 2) 小児循環器学会 | 11) 小児栄養消化器肝臓学会 | 20) 小児リウマチ学会 |
| 3) 小児神経学会 | 12) 小児心身医学会 | 21) 小児がん学会 |
| 4) 小児血液学会 | 13) 小児臨床薬理学会 | 22) 小児歯科学会 |
| 5) 小児アレルギー学会 | 14) 小児遺伝学会 | 23) 小児麻酔学会 |
| 6) 先天代謝異常学会 | 15) 小児精神神経学会 | 24) 小児皮膚科学会 |
| 7) 小児腎臓病学会 | 16) 外来小児科学会 | 25) 小児外科学会 |
| 8) 小児内分泌学会 | 17) 小児東洋医学会 | |
| 9) 小児感染症学会 | 18) 小児運動スポーツ研究会 | |

「小児薬物療法の現状と問題点」

プログラム

日時：平成20年1月18日（金） 13：25～16：30

場所：アルカディア市ヶ谷 6階 霧島

1. 開会挨拶

脇口 宏（日本小児科学会薬事委員会担当理事）

2. 小児医薬品開発と企業のインセンティブ

座長 脇口 宏

1) 企業側の要望

尾崎 雅弘（UCB ジャパン 日本製薬工業協会医薬品評価委員会臨床評価部会小児グループ）

2) バイオベンチャー企業からみた視点

塩村 仁（ノーベルファーマ（株））

3) 平成20年度薬価制度改革

—特に小児医薬品の評価について—

磯部総一郎（厚生労働省保険局医療課薬剤管理室）

4) 学会要望で開発した医薬品の医療機関採用時の“一増一減ルール”の実態について

神谷 太郎（昭和大学医学部小児科）

座長 伊藤 進

3. ガイドラインに記載された小児適応外使用医薬品

中川 雅生（滋賀医科大学医学部附属病院 治験管理センター）

4. 小児医薬品開発推進のための欧米での取り組み

中村 秀文（国立成育センター 治験管理室長）

5. 新薬承認審査を取り巻く最近の情勢について

河野 典厚（厚生労働省医薬食品局審査管理課）

研究構成員名簿

平成 19 年度 医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業
 (伊藤班) 主任・分担研究者

主任研究者

主任研究者名	所属	住所	電話	FAX
伊藤 進	香川大学医学部 小児科 教授	〒 761-0793 香川県木田郡三木町池戸 1750-1	087-891-2171	087-891-2172

分担研究者

分担研究者名	所属	住所	電話	FAX
板橋家頭夫	昭和大学 医学部 小児科学 教授	〒 142-8666 東京都品川区旗の台 1 丁目 5 番 8 号	03-3784-8565	03-3784-8362
佐地 勉	東邦大学医療センター 大森病院 小児科 教授	〒 143-8541 東京都大田区大森西 6-11-1	03-3762-4151	03-3298-8217
中川 雅生	滋賀医科大学 小児科 准教授 (治験管理センター長)	〒 520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町	077-548-2228	077-548-2230
網塚 貴介	青森県立中央病院 総合周産期母子医療センター 新生児集中治療管理部 部長	〒 030-8553 青森県青森市東造道 2 丁目 1-1	017-726-8111	017-726-1885 (総医局)
中村 秀文	国立成育医療センター 治験管理室・室長	〒 157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1	03-5494-7120 (ダイヤルイン)	03-3417-5691
寫村 俊朗	田辺三菱製薬 (株) 開発本部 開発第一部	〒 103-8405 東京都中央区日本橋本町 2-2-6	03-3241-4720	03-3241-3664
岩崎 利信	塩野義製薬 (株) 東京支店 業務部 次長	〒 150-8673 東京都渋谷区渋谷 2-17-5 シオノギ渋谷ビル	03-3406-8740	03-3406-8099

分科会の分担研究者

学会名	代表委員	住所	電話	FAX
1. 日本未熟児新生児学会	伊藤 進	〒761-0793 香川県木田郡三木町池戸1750-1	087-891-2171	087-891-2172
2. 日本小児循環器学会	中川 雅生	〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町 滋賀医科大学・小児科 准教授 (治験管理センター長)	077-548-2228	077-548-2230
3. 日本小児神経学会	大塚 頌子	〒700-8558 岡山市鹿田町2丁目5番1号 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 発達神経病態学	086-235-7372	086-235-7377
4. 日本小児血液学会	牧本 敦	〒104-0045 東京都中央区築地5-1-1 国立がんセンター中央病院 小児科医長	03-3542-2511	03-3542-3815
5. 日本小児アレルギー学会	小田島安平	〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町大字毛呂本郷38 埼玉医科大学 小児科学 教授	049-276-1219	043-226-2145
6. 日本先天代謝異常学会	大浦 敏博	〒980-8574 宮城県仙台市青葉区星稜町1-1 東北大学大学院小児病態学分野 准教授	022-717-7285	022-717-7290
7. 日本小児腎臓病学会	本田 雅敬	〒204-8567 東京都清瀬市梅園町1-3-1 都立清瀬小児病院副院長	042-491-0011	042-492-6291
8. 日本小児内分泌学会	田中 敏章	〒157-8535 東京都世田谷区大蔵2-10-1 国立成育医療センター 臨床検査部長	03-5494-7120	03-5494-7136
9. 日本小児感染症学会	佐藤 吉壮	〒373-8585 群馬県太田市八幡町29番5号 富士重工業健康保険組合総合太田病院 副院長・小児科部長	0276-22-6631	0276-25-7498
10. 日本小児呼吸器疾患学会	井上 壽茂	〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島5-3-20 (財) 住友病院 小児科 主任部長	06-6443-1261	06-6444-3975
11. 日本小児栄養消化器肝臓学会	河島 尚志	〒160-0023 東京都新宿区新宿6-7-1 東京医科大学附属病院小児科 講師	03-3342-6111	03-3344-0643
12. 日本小児心身医学会	石崎 優子	570-8506 大阪府守口市文園町10-15 関西医科大学 小児科学 非常勤講師	06-6992-1001 (内線 3252)	06-6993-5101
13. 日本小児臨床薬理学会	伊藤 進	〒761-0793 香川県木田郡三木町池戸1750-1	087-891-2171	087-891-2172
14. 日本小児遺伝学会	永井 敏郎	〒343-8555 埼玉県越谷市南越谷2-1-50 獨協医科大学越谷病院小児科 教授	0489-65-1111	0489-65-8927
15. 日本小児精神神経学会	宮島 祐	〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-7-1 東京医科大学病院小児科 講師	03-3342-6111	03-3344-0643

学会名	代表委員	住所	電話	FAX
16. 日本外来小児科学会	関口進一郎	〒160-8582 東京都新宿区信濃町35番地 慶應義塾大学医学部小児科 助教	03-3353-1211	03-5379-1978
17. 日本小児東洋医学会	宮川 三平	〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬550 聖徳大学児童学科 教授	047-365-1111	047-363-1401
18. 日本小児運動スポーツ研究会	村田 光範	〒272-8533 千葉県市川市国府台2-3-1 和洋女子大学家政学部 客員研究員	047-371-2174	047-371-2174
19. 日本小児救急医学会	羽鳥 文磨	〒157-8535 東京都世田谷区大蔵2-10-1 国立成育医療センター 救急診療科	03-3416-0181 (代表)	03-5494-7136 (医局)
20. 日本小児リウマチ学会	横田 俊平	〒236-0004 神奈川県横浜市金沢区福浦3-9 横浜市立大学医学部小児科 教授	045-787-2670 (医局)	045-787-0461 (医局)
21. 日本小児がん学会	牧本 敦	〒104-0045 東京都中央区築地5-1-1 国立がんセンター中央病院 小児科医長	03-3542-2511	03-3542-3815
22. 日本小児歯科学会	高木 裕三	〒113-8510 東京都文京区湯島1-5-45 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究 科小児歯科学分野 教授	03-3813-6111	03-5803-5247
23. 日本小児麻酔学会	阪井 裕一	〒157-8535 東京都世田谷区大蔵2-10-1 国立成育医療センター 手術集中治療部 救急診療科医長	03-3416-0181 (代表)	03-5494-7136 (医局)
24. 日本小児皮膚科学会	佐々木りか子	〒157-8535 東京都世田谷区大蔵2-10-1 国立成育医療センター 皮膚科	03-3416-0181 (代表)	03-5494-7136 (医局)
25. 日本小児外科学会	吉田 英生	〒260-8677 千葉市中央区亥鼻1-8-1 千葉大学医学部附属病院 小児外科 准教授	043-226-2312	043-226-2366

薬事委員長

伊藤 進	761-0793	香川県木田郡三木町池戸 1750-1 香川大学医学部 小児科 教授	087-891-2171	087-891-2172
------	----------	--------------------------------------	--------------	--------------

委員

板橋家頭夫	142-0064	東京都品川区旗の台 1-5-8 昭和大学医学部小児科 教授	03-3784-8565	03-3784-8362
伊藤 進	761-0793	香川大学医学部 小児科 教授	087-891-2171	087-891-2172
大澤真木子	162-8666	東京都新宿区河田町 8-1 東京女子医科大学小児科 教授	03-3353-8111	03-5379-1440
佐地 勉	143-8541	東京都大田区大森西 6-11-1 東邦大学医学部第一小児科 教授	03-3762-4151	03-3762-1148
中村 秀文	157-8535	東京都世田谷区大蔵 2-10-1 国立成育医療センター 治験管理室長	03-5494-7120	03-3417-5691
中川 雅生	520-2192	大津市瀬田月輪町 滋賀医科大学小児科 准教授	077-548-2228	077-548-2230

担当理事

脇口 宏	783-8503	高知県南国市岡豊町子蓮 九州大学医学部成長発達医学 教授	088-880-2355	088-880-2356
藤村 正哲	594-1101	大阪府和泉市室堂町 840 大阪府立母子保健総合医療センター 院長	0725-56-1220	0725-56-5682

専門委員

松田 一郎	061-0293	北海道石狩郡当別町金沢 1757 北海道医療大学 学長	011-582-3225	011-582-3225
越前 宏俊	204-8588	東京都清瀬市野塩 2-522-1 明治薬科大学薬物治療学 教授	0424-95-8438	0424-95-8438
横田 俊平	236-0004	神奈川県横浜市金沢区福浦 3-9 横浜市立大学医学部 小児科 教授	045-787-2670	045-787-0461

謝 辞

平成 19 年度の本厚生労働科学研究の遂行に当たっては、各分担研究者、小児科学会薬事委員・専門委員・担当理事および製薬企業の担当者の皆様にお世話になりました。特に、厚生労働省保険局医療課 磯部総一郎 薬剤管理管、国立成育センター中村秀文室長を始めとした治験管理室および薬剤部の皆様、滋賀医科大学中川雅生准教授、ノーベルファーマ（株）塩村仁社長、日本製薬工業協会医薬品評価委員会臨床評価部会小児グループの皆様にご尽力いただきました。また、今年度の報告書編集・作成にあたっては、香川大学小児科 金丸美和事務官に多大なご尽力をいただきました。ここに深く感謝いたします。

この研究事業を採り上げ、下支えしていただきました厚生省医薬局審査管理課の方々に感謝するとともに、今後とも有効で安全な小児薬物療法の発展のためにご協力をよろしく申し上げます。

香川大学小児科 教授 伊藤 進